

# ロータリー米山記念奨学委員会

ロータリー米山記念奨学委員会

統轄委員長 渡邊藤男(熊谷南 RC)

P.D.G. 高柳育行(本庄 RC)

推進委員会

委員長 東 美栄(狭山中央 RC)

副委員長 一柳達朗(入間 RC)

委員 京野弘一(川越 RC)

委員 山崎共子(川越 RC)

学友委員会

委員長 中嶋 清(鶴ヶ島 RC)

副委員長 清水洋子(パスポート RC)

委員 赤坂匠康(寄居 RC)

委員 櫻井裕治(本庄 RC)

委員 白井 威(日高 RC)



ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命です。平和を愛し、青少年に手をさしのべた“日本ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として、1952年、東京ロータリークラブは、海外からの留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがてそれは、日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、1967年に文部省(現・文部科学省)を主務官庁とする財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。50有余年の歴史を持ち、世界に類を見ない日本ロータリー独自の多地区合同プログラムとなっております。

『米山シンボルマーク』重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界の平和を願う“心”を育てるという、事業創設の願いが込められています。手は、そうした“心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

『世話クラブとカウンセラー』日本には約2,300のロータリークラブがあります。そのうち1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となります。米山奨学生は世話クラブの例会へ出席することが義務づけられていて、そこで奨学金の受け渡しを行います。これは米山記念奨学会独自のシステムです。

もう一つの特徴はカウンセラー制度です。奨学生1人に対し、世話クラブのロータリアンの中から1人がカウンセラーとなります。カウンセラーは、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。

2023-24年度2570地区の米山記念奨学生は19名です。昨年度より3名増えております。

寄付の増減により奨学生の人数が変わってきます。2570地区ロータリー米山記念奨学委員会では前年通り、普通寄付+特別寄付10,000円で15,000円の寄付をお願いいたします。

寄付額増額のため委員会として会員の皆様に米山記念奨学委員会の意義と活動をもう一度理解していただくために他の委員会と協力して広報活動等に力を入れて参りたいと思います。